



## 2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年2月13日

上場会社名 新田ゼラチン株式会社 上場取引所 東  
コード番号 4977 URL http://www.nitta-gelatin.co.jp/  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 尾形 浩一  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長 (氏名) 林 和也 TEL 072-949-5381  
四半期報告書提出予定日 2024年2月13日 配当支払開始予定日 -  
四半期決算補足説明資料作成の有無: 無  
四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第3四半期の連結業績 (2023年4月1日～2023年12月31日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	30,057	2.6	1,541	△24.8	1,712	△18.0	△1,610	-
2023年3月期第3四半期	29,285	26.8	2,050	102.9	2,089	75.2	894	43.7

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 △137百万円 (-%) 2023年3月期第3四半期 1,601百万円 (18.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	△88.72	-
2023年3月期第3四半期	49.34	-

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	40,130	21,754	44.6
2023年3月期	41,614	22,256	45.9

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 17,890百万円 2023年3月期 19,097百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	-	7.00	-	9.00	16.00
2024年3月期	-	8.00	-	-	-
2024年3月期 (予想)	-	-	-	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想 (2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,000	2.1	1,700	△24.8	1,700	△24.4	△2,400	-	△132.23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	18,373,974株	2023年3月期	18,373,974株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	213,988株	2023年3月期	240,939株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	18,147,366株	2023年3月期3Q	18,119,135株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報) .....	9
(重要な後発事象) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2023年4月1日～2023年12月31日)におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類引き下げに伴い、個人消費の増加やインバウンド需要の拡大を受けた経済活動の持ち直しにより緩やかに景気が回復しております。一方、エネルギー及び原材料価格の高騰に伴う物価上昇やインフレの進行による世界経済の減速や為替変動による影響など、当社グループを取り巻く環境は依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループは長期ビジョンとして「コラーゲンを通じて人々のQOL向上に貢献」することを掲げ、その具体的な施策として「ゼラチンの汎用品から付加価値の高いコラーゲンペプチドへのシフトを進め、成長が見込める市場に経営資源を重点配分し、高収益企業に生まれ変わる」ことを事業戦略としています。

この事業戦略の下、フードソリューション、ヘルスサポート、スペシャリティーズの各領域において販売拡大に取り組むと共に、原材料価格の上昇に対応すべく、適正価格への改定に引き続き取り組みました。また、北米市場への取組み及び事業の立て直しに関する施策について議論を重ね、慎重に検討した結果、北米事業をスリム化し、今後の成長分野にリソースを集中させていくことが、当社グループ全体の企業価値向上に資するとの判断のもと、ニッタゼラチンユーエスエーInc.の生産を停止することを決定しました。

以上の結果、売上高は30,057百万円(前年同期比2.6%増加)となりました。営業利益は、ニッタゼラチンユーエスエーInc.における生産性の悪化を主因に1,541百万円(前年同期比24.8%減少)となり、経常利益は1,712百万円(前年同期比18.0%減少)となりました。また、ニッタゼラチンユーエスエーInc.の生産停止の意思決定に伴う減損損失1,762百万円を計上したことなどから、親会社株主に帰属する四半期純損失は、1,610百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益894百万円)となりました。

当社グループは、コラーゲン事業の単一セグメントを適用しておりますが、販売区分別の概況は次のとおりです。

#### (フードソリューション)

フードソリューションにおいては、日本での販売が引き続き堅調であったことと、適正価格への改定により、全体の売上高は増加しました。

日本では、グミキャンディーの需要が引き続き好調であったことに加え、外食産業向けの需要回復により、業務用小分け製品の販売が増加したほか、業務用スープ・調味料用途やコンビニエンスストア向け総菜等への販売も堅調に推移したことから、売上高が増加しました。

海外では、北米地域において、グミキャンディーの需要は堅調なものの、一般食品用途はインフレ影響や価格競争の激化により販売が減少したことから、売上高が減少しました。

その結果、フードソリューション全体の売上高は11,807百万円(前年同期比2.5%増加)となりました。

#### (ヘルスサポート)

ヘルスサポートでは、カプセル用ゼラチンの販売伸長及び価格改定により、全体の売上高は増加しました。

日本では、顧客のコラーゲン商品の販売の伸び悩みにより美容コラーゲンペプチドの売上高は前年を下回りましたが、カプセル用ゼラチンの売上高が増加しました。

海外では、北米地域において、カプセル用ゼラチンの販売が堅調でしたが、インフレの影響によりコラーゲンペプチドの需要が軟化基調で、売上高が減少しました。アジア地域においては、インフレ等の影響や価格競争の激化により、コラーゲンペプチドの販売が減少しました。一方、インドにおいては、カプセル用ゼラチンの販売が引き続き堅調で、売上高が増加しました。

その結果、ヘルスサポート全体の売上高は14,919百万円(前年同期比7.0%増加)となりました。

#### (スペシャリティーズ)

スペシャリティーズにおいては、写真用ゼラチンの販売が引き続き好調でしたが、飼料や肥料向けリン酸カルシウム等は市場価格低下により販売が減少し、売上高は3,331百万円(前年同期比12.9%減少)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末比1,484百万円減少の40,130百万円となりました。主な要因は、棚卸資産が712百万円増加した一方で、その他の流動資産が213百万円及び有形固定資産が1,890百万円それぞれ減少したことによるものです。

## (負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末比982百万円減少の18,375百万円となりました。主な要因は、長期借入金（1年内返済予定を含む）が600百万円増加した一方で、短期借入金が426百万円、その他の流動負債が1,077百万円それぞれ減少したことによるものです。

## (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末比502百万円減少の21,754百万円となりました。主な要因は、その他有価証券評価差額金が155百万円、繰延ヘッジ損益が49百万円、為替換算調整勘定が478百万円及び非支配株主持分が704百万円それぞれ増加した一方で、利益剰余金が1,918百万円減少したことによるものです。

この結果、自己資本比率は44.6%（前連結会計年度末45.9%）となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想及び配当予想につきましては、本日公表の「減損損失（連結）、関係会社株式評価損等（個別）及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

なお、実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、今後につきましては、当社経営方針及び国内外の諸情勢を考慮の上、国内同業他社の I F R S（国際財務報告基準）の適用動向等も踏まえ、I F R S（国際財務報告基準）の適用について検討を進めていく方針であります。

## 3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,856	2,897
受取手形及び売掛金	8,741	8,612
商品及び製品	6,910	7,678
仕掛品	1,487	1,840
原材料及び貯蔵品	4,584	4,176
その他	801	587
貸倒引当金	△6	△6
流動資産合計	25,376	25,785
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,812	3,821
機械装置及び運搬具（純額）	2,740	1,942
その他（純額）	3,566	3,464
有形固定資産合計	11,119	9,228
無形固定資産		
のれん	196	162
その他	308	288
無形固定資産合計	504	451
投資その他の資産		
投資有価証券	2,730	3,028
その他	2,011	1,770
貸倒引当金	△127	△135
投資その他の資産合計	4,614	4,664
固定資産合計	16,238	14,344
資産合計	41,614	40,130

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,818	3,058
短期借入金	3,905	3,478
1年内返済予定の長期借入金	2,084	2,238
未払法人税等	241	144
賞与引当金	256	138
その他	3,404	2,327
流動負債合計	12,711	11,385
固定負債		
長期借入金	4,118	4,564
退職給付に係る負債	1,586	1,590
その他	942	835
固定負債合計	6,646	6,989
負債合計	19,358	18,375
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,144	3,144
資本剰余金	2,964	2,966
利益剰余金	11,486	9,567
自己株式	△160	△143
株主資本合計	17,434	15,535
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	842	998
繰延ヘッジ損益	△3	45
為替換算調整勘定	841	1,320
退職給付に係る調整累計額	△17	△9
その他の包括利益累計額合計	1,662	2,354
非支配株主持分	3,159	3,864
純資産合計	22,256	21,754
負債純資産合計	41,614	40,130



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	29,285	30,057
売上原価	22,267	23,750
売上総利益	7,018	6,306
販売費及び一般管理費	4,967	4,765
営業利益	2,050	1,541
営業外収益		
受取利息	2	28
受取配当金	59	48
受取賃貸料	43	45
為替差益	60	160
その他	50	52
営業外収益合計	217	335
営業外費用		
支払利息	137	116
持分法による投資損失	33	26
その他	8	21
営業外費用合計	178	164
経常利益	2,089	1,712
特別利益		
固定資産売却益	0	0
固定資産受贈益	—	2
収用補償金	46	—
特別利益合計	46	2
特別損失		
固定資産売却損	—	0
固定資産除却損	5	23
固定資産圧縮損	—	2
移転関連費用	55	—
減損損失	31	1,762
特別損失合計	92	1,789
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	2,043	△74
法人税等	605	881
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,437	△956
非支配株主に帰属する四半期純利益	543	653
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	894	△1,610

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,437	△956
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	156
繰延ヘッジ損益	△53	50
為替換算調整勘定	164	517
退職給付に係る調整額	△74	8
持分法適用会社に対する持分相当額	126	86
その他の包括利益合計	164	818
四半期包括利益	1,601	△137
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,080	△917
非支配株主に係る四半期包括利益	521	780

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年7月20日開催の取締役会決議に基づき、譲渡制限付株式報酬として2023年8月4日を期日とする自己株式31,200株の処分を行いました。また、当第3四半期連結会計期間において、譲渡制限付株式4,200株の取得を行いました。これらの結果、当第3四半期連結累計期間において資本剰余金が2百万円増加、自己株式が17百万円減少し、当第3四半期連結会計期間末において資本剰余金が2,966百万円、自己株式が143百万円となっております。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間（自2022年4月1日 至2022年12月31日）

当社グループは、コラーゲン事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第3四半期連結累計期間（自2023年4月1日 至2023年12月31日）

当社グループは、コラーゲン事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

## (重要な後発事象)

当社は、2024年1月25日開催の取締役会において、連結子会社ニッタゼラチンユーエスエーInc.における生産活動を停止し、工場を閉鎖することを決定いたしました。

## 1. 生産停止の経緯

ニッタゼラチンユーエスエーInc. は、北米市場及び日本市場向けの需要に応えるために、2004年12月米国ノースカロライナ州に設立し、豚皮ゼラチン、豚皮コラーゲンペプチドなどの製造・販売を行ってまいりました。

これまで生産体質及び業務効率の向上を図るべく取り組んでまいりましたが、生産性の悪化、近年の米国におけるエネルギーコスト及び人件費の高騰など厳しい事業環境が続き、今後についても市場の競争環境が厳しく、製品販売価格の低下が見込まれます。

この状況に鑑み、北米市場への取組み及び事業の立て直しに関する施策について議論を重ね、慎重に検討してまいりましたが、北米事業をスリム化し、今後の成長分野にリソースを集中させていくことが、当社グループ全体の企業価値向上に資するとの判断のもと、ニッタゼラチンユーエスエーInc. の生産を停止することを決議いたしました。

なお、ニッタゼラチンカナダInc. は豚皮ゼラチンの生産を継続して担います。また、北米の販売体制は従来と変更ありません。

## 2. 生産停止日

2024年1月31日

## 3. ニッタゼラチンユーエスエーInc. の概要

(1)	名 称	ニッタゼラチンユーエスエーInc.
(2)	所 在 地	4341 Production Dr, Fayetteville, NC 28306, USA
(3)	代表者の役職・氏名	CEO取締役社長 鈴木 啓仁
(4)	事 業 内 容	豚ゼラチン、豚・牛コラーゲンペプチドの製造
(5)	資 本 金	0千\$
(6)	設 立 年 月	2004年12月
(7)	大株主及び持分比率	ニッタゼラチンホールディングInc. (当社100%子会社) 100%

## 4. 業績への影響

第3四半期連結会計期間において減損損失12,347千円(1,762百万円)を特別損失に計上しました。

加えて、2024年1月25日開催の取締役会における生産停止の意思決定により、当連結会計年度において特別退職金や製造設備の撤去費用など事業整理損を計上する予定ですが、影響額は現在精査中です。